

引用文献

- 青野篤子,金子省子. (2008). 保育にかかわる保護者のジェンダー観. 日本家政学会誌. 59(3), 135-142.
- 浅井春夫.(2020).包括的性教育 人権、性の多様性、ジェンダー平等を柱に.大月書店.
- Atsuko SUZUKI.(1991). Egalitarian sex role attitudes: Scale development and comparison of American and Japanese women. *Sex Roles*. 24(5), 245-259.
- 電通ダイバーシティ・ラボ. (2021). 「LGBTQ+調査 2020」 [ウェブサイト]. <https://www.dentsu.co.jp/news/release/2021/0408-010364.html> (検索日：2021 年 12 月 10 日)
- 土肥いつき. (2020). 性の多様性を学校でどのように教えるか. 小児保健研究. 79(2), 135-139.
- 郡司日奈乃.(2020).性的マイノリティに関する制度づくりを主題とした中学生向け授業の開発.授業実践開発研究.13,65-74.
- 原健一,永松美雪,中河亜希,齋藤ひさ子. (2012).中学生男女の親・教員との会話と男女交際および性感染症に関する知識・意識・行動との関連.思春期学.30,2.
- 針間克己. (2020).LGBT の基本的理解と現況. 小児保健研究. 79(2), 114-118.
- 橋本紀子,篠原久枝,田代美江子,鈴木幸子,広瀬裕子,池谷壽夫,良香織,小宮明彦,渡部真奈美,茂木輝順,森岡真梨. (2011). 日本の中学校における性教育の現状と課題. [ウェブサイト]. <https://www.i-repository.net/il/cont/01/G0000155repository/000/004/000004100.pdf> (検索日：2021 年 12 月 11 日)
- 早川愛子,朝澤恭子.(2019). 看護系大学生に対する性的マイノリティ教育プログラムの開発と評価. 東京医療保健大学紀要. 14(1), 133-140.
- Hendricks, M. L., & Testa, R. J. (2012). A conceptual framework for clinical work with transgender and gender nonconforming clients: An adaptation of the Minority Stress Model. *Professional Psychology: Research and Practice*. 43(5), 460.
- 日高庸晴. (2000). ゲイ・バイセクシュアル男性の異性愛者的役割葛藤と精神的健康に関する研究.思春期学.18(3), 264-272.
- 日高庸晴,市川誠一,木原正博.(2004).ゲイ・バイセクシュアル男性の HIV 感染リスク行動と精神的健康およびライフイベントに関する研究.日本エイズ学会誌,6(3),165-173.
- 日高庸晴. (2013). 教員 5,979 人の LGBT 意識調査レポート [ウェブサイト].

https://www.health-issue.jp/teachers_lgbt_survey.pdf (検索日：2021年2月21日)

日高庸晴. (2015). 教育現場で配慮と支援が必要なセクシュアルマイノリティ. 女も男も. 125, 26-33.

日高庸晴. (2021). 小中高校・特別支援学校の教員における LGBTs の認識(2). 助産雑誌. 75(10), 796-799.

堀部美穂, 渡邊正樹. (2012). 家庭における性教育のための研修プログラムの開発と評価: 小学生の保護者を対象として-. 東京学芸大学紀要 芸術・スポーツ科学系, 64, 191-199.

市戸優人, 喜多歳子. (2019). 保護者による家庭内性教育に関する文献レビュー 家庭内性教育に対する親の意識・実態・影響要因の検討. 北海道公衆衛生学雑誌. 32(2), 35-42.

稲川由美. (2011). 家庭での性教育の実態調査: 小学生を持つ親へのアンケート調査より. 日本看護学会論文集. 母性看護. 42, 66-69.

いのちリスペクト。ホワイトトリボンキャンペーン. (2014). LGBT の学校生活に関する実態調査 (2013) 結果報告書. [ウェブサイト]. <https://sogilaw.org> (検索日：2021年4月21日)

International Conference on LGBT Human Rights of the 1st World Outcomes. (2006). DECLARATION OF MONTREAL [ウェブサイト]. <http://www.declarationofmontreal.org/DeclarationofMontreal.pdf> (検索日：2021年3月8日)

石田仁. (2019). はじめて学ぶ LGBT 基礎からトレンドまで. ナツメ社. p. 229.

石丸径一郎. (2004). 性的マイノリティにおける自尊心維持 他者からの受容感という観点から. 心理学研究. 75(3), 191-198.

株式会社 LGBT 総合研究所博報堂 D Y グループ. (2019). 「LGBT 意識行動調査 2019」 [ウェブサイト]. https://www.daiko.co.jp/dwp/wp-content/uploads/2019/11/191126_Release.pdf (検索日：2021年12月10日)

釜野さおり. (2017). 同性愛・両性愛についての意識と家族・ジェンダーについての意識の規定要因：性的マイノリティについての意識 2015 年全国調査から. 家族社会学研究. 29(2), 200-215.

亀石知美, 下見千恵. (2017). 第1子に小学生がいる保護者の家庭で性教育を行う際の支援に関する検証 父母間での性教育に関する意識の違いについて. 日本赤十字広島看護大学紀要. 17, 1-7.

葛西真記子, 岡橋陽子. (2011). LGB Sensitive カウンセラー養成プログラムの実践. 心理臨

- 床学研究. 29(3), 257-268.
- 河口和也.(2000). 同性愛とピア・カウンセリングアカーの電話相談の経験から. 臨床心理学研究 . 37(4), 70-73.
- 木村好秀, 齊藤益子.(2008). 家庭における性教育のあり方. 産婦人科治療. 97 (1), 29-34.
- King, M., Semlyen, J., Tai, S.S., Killaspy, H., Osborn, D., Popelyuk, D., & Nazareth, I. (2008). A systematic review of mental disorder, suicide, and deliberate self harm in lesbian, gay and bisexual people. *BMC Psychiatry*. 8, 70-78.
- Klein, J.D., Sabaratnam, P., Pazos, B., Auerbach, M. M., Havens, C. G., Brach, M. J. (2005). Evaluation of the parents as primary sexuality educators program. *Journal of Adolescent Health*. 37(3), S94-S99. <https://doi.org/10.1016/j.jadohealth.2005.05.004>
- 児玉愛穂, 片沼朋美, 大井伸子. (2010). 3 歳児以上の幼児をもつ家庭での性教育についての検討. 母性衛生. 51(3), 156.
- 国際連合広報センター. (n.d.). 人権差別との闘い [ウェブサイト]. LGBT. <https://www.unic.or.jp/activities/humanrights/discrimination/lgbt/> (検索日 : 2022 年 1 月 10 日)
- 国際連合広報センター (n.d.). 性的指向と性同一性を理由とする差別との闘い [ウェブサイト]. <https://www.unic.or.jp/activities/humanrights/discrimination/lgbt/> (検索日 : 2021 年 12 月 21 日)
- 厚生労働省.(2012). 自殺総合対策大綱:誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して [ウェブサイト]. <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12200000-Shakaiengokyokushougaihokenfukushibu/honbun.pdf> (検索日:2021 年 3 月 10 日)
- 厚生労働省.(2018). 平成 30 年(2018)人口動態統計月報年計(概数)の概況. [ウェブサイト]. <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai18/dl/gaikyou30-190626.pdf> (検索日 : 2021 年 12 月 10 日)
- 厚生労働省. (2019). 2019 年国民生活基礎調査の概況, 世帯数と世帯人員の状況 [ウェブサイト]. <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa19/dl/02.pdf> (検索日 : 2021 年 12 月 10 日)
- 工藤千賀子, 工藤せい子. (2020). 看護者が患者からセクシュアルハラスメントを受けた実態と性役割態度および倫理的行動. 日本看護倫理学会誌. 12(1), 30-38.
- Kuyper, L., & Fokkema, T. (2011). Minority stress and mental health among Dutch LGBs: examination of differences between sex and sexual orientation. *Journal of Counseling Psychology*

chology. 58(2), 222.

LGBT 法連合会編. (2019). 日本と世界の LGBT の現状と課題—SOGI と人権を考える. か
もがわ出版.

前本浩希, 佐々木新. (2019). 性的マイノリティ当事者の語りは聴き手の性的マイノリティ
への印象や当惑感を改善する. *GID (性同一性障害) 学会雑誌*. 12, 103-110.

眞野豊. (2019). "性の多様性"に関する理解を促すための教職員研修の実践とその効果に関す
る考察. *広島修大論集*. 60(1), 115-132.

松浦賢長. (2020). 学校における性教育と性的マイノリティ: わが国の現状と課題. 第 35 回
小児保健セミナー性的マイノリティの子どもたちへの対応. *小児保健研究*. 79(2), 119-
123.

McCann, E., Sharek, D. (2016). Mental health needs of people who identify as transgender: A rev
iew of the literature. *Archives of psychiatric nursing*. 30(2), 280-285.

Meyer, I. H. (2015). Resilience in the study of minority stress and health of sexual and gender
minorities. *Psychology of Sexual Orientation and Gender Diversity*. 2(3), 209.

道園亜希, 古田祐子, 佐藤繭子, 石村美由紀. (2019). 小学 4~6 年生の子どもを持つ保護者が家庭
で行った就学前後の性教育の実態. *福岡県立大学看護学研究紀要*. 16, 63-71.

文部科学省. (2015). 性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について.
[ウェブサイト]. https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/27/04/1357468.htm (検索日: 20
21 年 1 月 4 日)

文部科学省. (2016). 性同一性障害や性的指向・性自認に係る児童生徒に対するきめ細かな対
応等の実施について (教職員向け) [ウェブサイト]. [https://www.mext.go.jp/b_menu/hou
dou/28/04/_icsFiles/afieldfile/2016/04/01/1369211_01.pdf](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/28/04/_icsFiles/afieldfile/2016/04/01/1369211_01.pdf) (検索日: 2021 年 2 月 21 日)

森本眞寿代, 前原宏美, 佐藤繭子. (2019). わが国の家庭で親が行う性教育に関する研究の動向:
看護関連の文献のエビデンスレベル. *日本看護研究学会雑誌*. 42(2), 231-240.

村井文江. (2015). 家庭における性教育を支援するプログラム開発と評価. [博士論文.]

永光信一郎. (2017). 健やか親子 21 (第 2 次) を推進するための思春期の母性保健の向上を
目的とした効果的な保健指導のあり方についての調査研究, 厚生労働省平成 28 年度子
ども・子育て支援推進調査研究事業 研究統括報告書. 114-115.

内閣府. (2021). 令和 3 年版少子化社会対策白書全体版, 出産・子育てをめぐる意識等 [ウェ
ブサイト]. <https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w2021/r03pdfho>

npen/pdf/s1-5.pdf（検索日：2021 年 12 月 10 日）

中村洸太,橋本佐由理.(2019).性的マイノリティの精神的健康に関連する要因：性自認、性的指向、自己否定感、及び情緒的支援認知の関連.こころの健康.34(1),83.

中西 絵里.(2017).LGBT の現状と課題：性的指向又は性自認に関する差別とその解消への動き立法と調査.No. 394.https://www.sangiin.go.jp/japanese/annai/chousa/rippou_chousa/backnumber/2017pdf/20171109003.pdf

中塚幹也.(2010).学校保健における性同一性障害－学校と医療との連携.日本医事新報.4521,60-64.

中塚幹也.(2013).学校の中の「性別違和感」を持つ子ども 性同一性障害の生徒に向き合う. JSPS 日本学術振興会科学研究費助成事業 23651263 挑戦的萌芽研究.1-46.

中塚幹也.(2017).性同一性障害の子どもへの支援 学校と医療との連携.日本小児科医会会報.(54), 97-100.

日本労働組合総連合会.(2016).「LGBT に関する職場の意識調査～日本初となる非当事者を中心に実施した LGBT 関連の職場意識調査～」[ウェブサイト]. <https://www.jtuc-rengo.or.jp/info/chousa/data/20160825.pdf?0826>

認定特定非営利活動法人 ReBit.(2019).多様な性に関する授業がもたらす教育効果の調査報告 2019.21-25. https://rebitlgbt.org/pdf/rebit_lgbt_survey_report.pdf（検索日：2021 年 2 月 22 日）

野崎健太郎,林里奈.(2008).アンケート調査による日本の性教育の実態と問題点の解析 (予報). 椋山女学園大学研究論集 社会科学篇. 39, 187-196.

Office of the United Nations High Commissioner for Human Rights (2012).BORN FREE AND EQUAL Sexual Orientation and Gender Identity in International Human Rights Law [ウェブサイト]. <https://www.ohchr.org/Documents/Publications/BornFreeAndEqualLowRes.pdf>（検索日：2022 年 1 月 10 日）

小倉由紀子,谷口美智子,箕川あゆみ,矢島悟子.(2013).家庭での性教育における親子の意識と影響要因.日本看護学会論文集(母性看護). 43, 96-99.

及川裕子.(2001).幼児期の性教育の課題：保護者の意識調査を通して.日本赤十字武蔵野短期大学紀要.14,159-164.

奥村遼,加瀬進.(2016).セクシュアルマイノリティに対する配慮及び支援に関する研究：学校教育現場に対する当事者のクレームを手掛かりに.東京学芸大学紀要.総合教育科学

系 67,2,11-19.

Orkan Okan, Ullrich Bauer, Diane Levin-Zamir, Paulo Pinheiro and Kristine Sørensen.(2019) INTERNATIONAL HANDBOOK OF HEALTH LITERACY Research, practice and policy across the lifespan [ウェブサイト]. <https://library.oapen.org/handle/20.500.12657/24879> (検索日：2021年2月21日)

李修京, 畠山佳穂, 城渚紗.(2018). '性の多様性'理解と'LGBT'認知のための教育. 東京学芸大学紀要. 人文社会科学系 69, 127-143.

ルイーズ・ダーマンスパークス. (1994). 玉置 哲淳, 大倉 三代子 (編訳), 人権と保育 2 なめから見ない保育: アメリカの人権カリキュラム. 解放出版社.

Ryan, R. M. & Deci, E. L.(2000). Self-determination theory and the facilitation of intrinsic motivation, social development, and well-being. *American psychologist*, 55(1), 68.

作野友美. (2008). 2歳児はジェンダーをどのように学ぶのかー保育園における性別カテゴリーによる集団統制に着目してー. 子ども社会研究. 14号, 29-44.

佐々木直美. (2016). 大学生および成人を対象とした男性同性愛者に対する意識についてー当事者による講演会の参加前後の比較からー. 山口県立大学学術情報. 9, 33-40.

佐々木掌子. (2018). 中学校における「性の多様性」授業の教育効果. 教育心理学研究. 66(4), 313-326. <https://doi.org/10.5926/jjep.66.313>

佐々木掌子. (2020). 性的マイノリティの子どもたちの心を考える - 臨床心理士の立場から. 小児保健研究. 79(2), 124-128.

佐藤裕紀子. (2019). 性的マイノリティ当事者との接触経験がもたらす教育的効果: ジェンダー・ダイバーシティ教育の視点から. 茨城大学教育実践研究. 38, 35-44.

渋谷区・認定 NPO 法人虹色ダイバーシティ. (2021). 全国パートナーシップ制度共同調査 [ウェブサイト]. <https://nijibridge.jp/?animation=none> (検索日：2022年1月12日)

宍戸章子, 齋藤益子, 木村好秀 (2007). わが国の家庭での性教育に関する研究の動向と今後の課題. 思春期学. 25(3), 337-349.

SLO. (n.d.) .Nationaal expertisecentrum leerplanontwikkeling Seksualiteit en seksuele diversiteit in de kerndoelen Een leerplanvoorstel en voorbeeldles materiaal [ウェブサイト]. <file:///C:/Users/miyuk/Downloads/seksualiteit-en-seksuele-diversiteit-in-de-kerndoelen.pdf> (検索日：2021年1月1日)

須藤万智, 松井由美子, 坪川麻樹子. (2018). 家庭, 学校が抱える性教育の課題に関する文献検討.

- 新潟医療福祉学会誌,18(1),74-74.
- 鈴木淳子.(1994).平等市議的性役割態度スケール短縮版 (SESRA-S) の作成.心理学研究,65(1), 34-41.
- 高橋久美子.(1997).家庭における性教育の現状と課題ー大学生調査を通してー.日本家政学会誌,48(4),267-277.
- 高橋澄子,岡崎愉加. (2019). 小学生・中学生を対象とした家庭における性教育の実施内容に関する文献検討. 母性衛生. 60(3), 219-219.
- 田中博晃,廣森友人.(2007).英語学習者の内発的動機づけを高める教育実践的介入とその効果の検証.JALT Journal.29,59-80.
- 田代美江子, 渡辺大輔, 艮香織. (2014). ジェンダー・バイアスを問い直す授業づくり:「性の多様性」を前提とする中学校の性教育. 埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター紀要. 13, 91-98.
- 寺原真希子,森あい. (2016).LGBT についての基礎知識. 自由と正義.67(8), 8-14.
- 戸口太功耶,葛西真記子.(2016).性の多様性に関する教育実践の国際比較.鳴門教育大学学校教育研究紀要, 30, 65-74.
- 特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ. (2021). 性的指向に関する世界地図 (2021 年 1 月時点) [ウェブサイト]. https://nijibridge.jp/wp-content/uploads/2021/03/210312_marriagemap_F_ol.pdf (検索日: 2022 年 1 月 10 日)
- 戸塚唯氏.(2018).性的マイノリティの児童生徒への支援と支援への態度変容を導く要因. 千葉科学大学紀要.11,47-56.
- 梅本恵. (2019). 保育者養成における「性の多様性」教育: 学生の授業後感想文の分析から. 富山短期大学紀要. 55, 3.
- UNESCO. (2018). International technical guidance on sexuality education An evidence-informed approach Revised edition [ウェブサイト]. <https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000260770> (検索日: 2020 年 12 月 16 日)
- 若井和子,秦久美子,渋谷洋子,藤井清美.(2015).親子で学ぶ性教育プログラムに対する親の期待.川崎医療福祉学会誌.24(2),191-199.
- 若井和子,秦久美子,渋谷洋子,藤井清美.(2017).幼児期から親子で始める性教育が親子関係に与える効果.川崎医療福祉学会誌.27(1),75-84.
- 渡邊歩. (2020).多様な性に関する授業を通じた中学・高校生の意識の変化. 早稲田大学大学

院教育学研究科紀要:別冊. 27(2), 197-208.

渡辺大輔, 楠裕子, 田代美江子, 艮香織. (2011). 中学校における「性の多様性」理解のための授業づくり. 埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター紀要. 10, 97-104.

渡辺大輔. (2017). 「性の多様性」をめぐる教育・学習と性的マイノリティ支援のあり方. 日本教育政策学会年報第 24 号.

渡邊健治, 大久保賢一, 竹下幸男, 深田將揮. (2017). 日本の小学校における「ダイバーシティ教育」に関する調査. 畿央大学紀要. 14(2), 25-40.

WHO Regional Office for Europe and BzgA. (2010). Standards for Sexuality Education in Europe A framework for policy makers, educational and health authorities and specialists. [ウェブサイト]. <https://www.icmec.org/wp-content/uploads/2016/06/WHOStandards-for-Sexuality-Education-in-Europe.pdf> (検索日: 2021 年 2 月 20 日)

Women, U. N. & UNICEF. (2018). International technical guidance on sexuality education: an evidence-informed approach. UNESCO Publishing.

薬師実芳, 笠原千奈未, 古堂達也, 小川奈津己. (2019). 改定新版 LGBT ってなんだろう? 自認する性・からだの性・好きになる性・表現する性. 合同出版.

安田節之, 渡辺直登. (2011). 臨床心理学研究法第 7 巻 プログラム評価研究の方法. 新曜社.

矢崎胡桃, 本多明生. (2018). 我が国の小学校におけるセクシュアル・マイノリティ支援に関する実態調査. 日本心理学会大会発表論文集. 1023.

吉村美沙, 松田久美子, 中村喜代美. (2011). 幼児期における家庭での性教育: 夫婦間のコミュニケーション調査を通して. 奈良県母性衛生学会雑誌. 24, 32-35.

吉澤真歩, 近藤浩子, 井田伸人. (2021). LGBT に対する看護系大学生の理解に関する調査. 北関東医学. 71(1), 37-46.